



# 三菱電機パッケージエアコン別売部品 外気取入ダクトフランジ PAC-SH650F 分ダクトフランジ PAC-SH66BF 据付工事説明書

( この据付工事説明書は外気取入ダクトフランジと分ダクトフランジが共通となっています。お取付けとなる別売部品に応じて作業を進めてください。また、室内ユニットの据付工事説明書を併せてお読みください。 )

## 安全のために必ず守ること

- 据付工事は、この「安全のために必ず守ること」をよく読みのうえ、確実に行ってください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の表示で区分して説明しています。

**警告** 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの。

- 据付工事後、試運転を行い異常がないことを確認してください。
- この据付工事説明書は、お客様で保管していただくように依頼していただきます。
- また、お使いになる方が代わる場合は、新しくお使いになる方にお渡しいただくように依頼していただきます。



## 警告

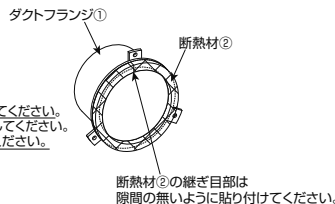
- 据付けは、販売店又は専門業者に依頼する。
- お客様ご自身で据付工事をされ不備があると、水漏れや感電・火災などの原因になります。
- 据付工事は、この据付工事説明書に従って確実に行う。
- 据付工事に不備があると、部品によっては水漏れや感電・火災などの原因になります。

### 1. 部品の確認 (この箱の中には本据付工事説明書の他に下記部品が同梱されています。)

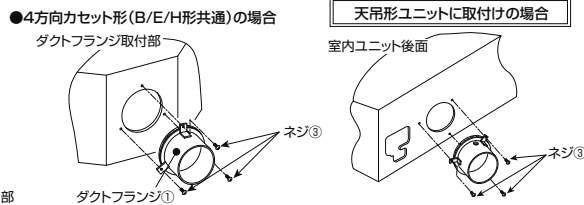
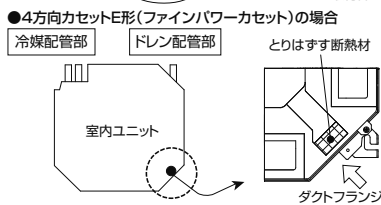
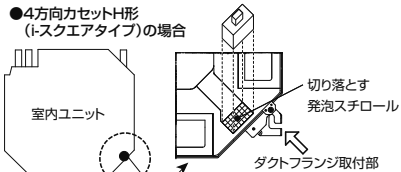
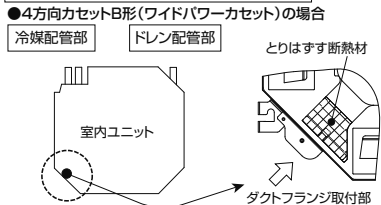
外気取入ダクトフランジ PAC-SH650F			分ダクトフランジ PAC-SH66BF		
品名 ①ダクトフランジ	②断熱材	③ネジ(M4×10)	品名 ①ダクトフランジ	②断熱材	③ネジ(M4×10)
個数 1	1	3	個数 1	2	4
形状			形状		

### 2. 外気取入ダクトフランジPAC-SH650Fの取付け

- 1)ダクトフランジ取付部に開口穴をあけます。  
(4方向天井カセット形ユニットに取付けの場合)  
●ダクトフランジ取付部φ100カットアウト穴のスリットをニッパーなどで切り落とします。  
(4方向天井カセット形多機能ケースメント、及び天井形ユニットに取付けの場合)  
●ダクトフランジ取付部のφ100ノックアウト穴をとりはずします。
  - 2)外気取入ダクトフランジ①のフランジ部に断熱材②を貼ります。(右図参照)
  - 3)外気取入ダクトフランジ①をネジ③(3本)で取付けます。(下図参照)
- ※4方向天井カセットB形/E形ユニットに取り付ける場合は、室内ユニットの下図位置に貼られている断熱材を必ずとりはずしてください。  
※4方向天井カセットH形ユニットに取り付ける場合は、室内ユニットの下図位置の発泡スチロールをニッパーなどで切り落とすしてください。  
※多機能ケースメントに取付ける場合は、外気取入ダクトフランジ①の凹部を必ずパネル取付面側に向けて取付けてください。  
(指定以外の位置に取付けた場合、化粧パネルの取付けができません)
- ※室内ユニットより直接外気を取り入れる場合、外気取入量は空調機風量の5%以下にしてください。  
※多機能ケースメントより外気を取り入れる場合、外気取入量は空調機風量の20%以下にしてください。  
※取入れには押し込み用ファンと、粉塵処理が必要です。詳しくは技術マニュアルの風量・静圧特性をご覧ください。  
※室内ユニットに直接外気取入れを行う場合、騒音が大きくなる場合があります。

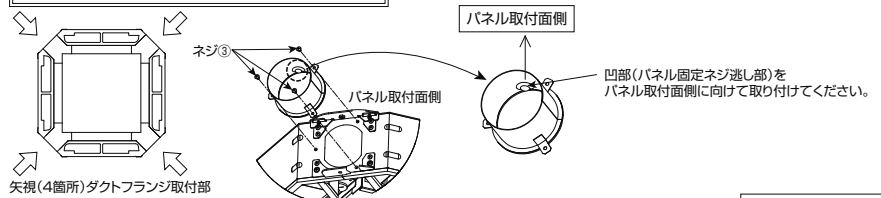


#### 4方向天井カセット形ユニットに取付けの場合



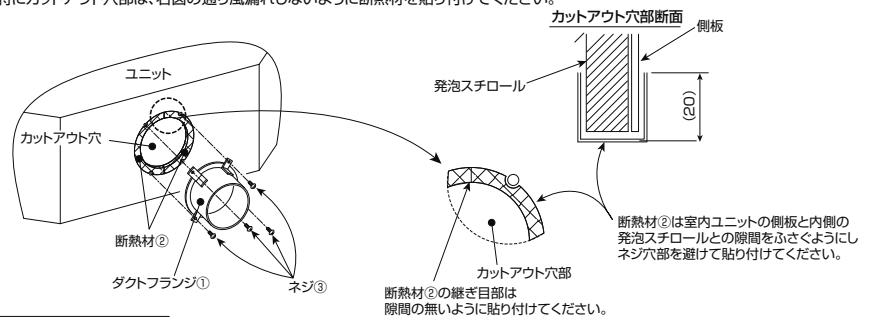
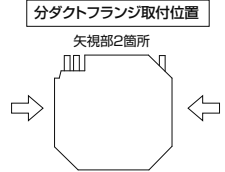
#### 天井形ユニットに取付けの場合

#### 4方向天井カセット形多機能ケースメントに取付けの場合



### 3. 分ダクトフランジPAC-SH66BFの取付け

- 1)4方向天井カセット形ユニットの分ダクトフランジ取付部に開口穴をあけます。
  - ダクトフランジ取付部φ150カットアウト穴のスリットをニッパーなどで切り落とします。
  - φ150穴に合わせて内部の発泡スチロールをニッパーなどで切り落とします。(故障の原因になりますので、切り粉は十分取り除いてください)
  - 2)上記開口部の端面に断熱材②(2枚)を貼り付けます。
  - 3)分ダクトフランジ①をネジ③(4本)で取付けます。
- ※分ダクト接続時は、十分な断熱を行ってください。(露つき・曇たれの原因になります)特にカットアウト穴部は、右図の通り漏れしないように断熱材を貼り付けてください。



### 4. ダクトの取付け

※室内ユニット側と多機能ケースメント側への取付けではダクト挿入位置が異なりますので、ご注意ください。

- ダクト(現地手配)をネジ又はバンドでダクトフランジに確実に固定して接続してください。
- ネジ取付のときは、ダクトフランジ①にネジ取付用の下加工を施してください。
- ダクトフランジ①とダクト(現地手配)を先に取り付けて組込むことはできません。

